

学校・地域の実態
1 学校の取組に協力的な保護者や地域の方が多い。地域行事等も盛んである。平成29年度からコミュニティ・スクールとなった。
2 地域の行事に保護者・児童も積極的に関わり、学校を中心とした協力体制ができています。
3 年齢的にバランスのとれた職員構成である。
4 職員の人数が少ないため、一人にかかる負担が大きい。
5 全職員で子どもたちを育てようという風土が培われている。

学校の教育目標
人間尊重を基盤とし、教育の質的転換を図り、豊かな人間性をもち21世紀を拓く子どもを育成する
1 進んで勉強し、最後までやり抜く子 (がんばる子)
2 元気で明るく、はたらく子 (明るい子)
3 みんな仲よく、礼儀正しい子 (仲よくする子)

児童の実態
1 素直で明るく、落ち着いていてもめごとは少ない。
2 縦割り班活動も多く、高学年の児童が低学年の世話をすることが自然にできている。
3 学習にはまじめに根気強く取り組む児童が多い。
4 少ない人数で、人間関係が固定化しているため、大人数での生活経験が不足している。
5 言葉が少なくてもコミュニケーションが成立してしまうため、あまり見知らない他人と交流・協働する力が弱い。

目指す学校像
1 安心・安全で、子どもが楽しく通う学校
2 保護者が信頼して子どもを任せられる学校
3 地域の方々が誇りに思う学校
4 教職員が幸せに働く学校

学校経営の基本方針
スローガン 「20年後の未来をたくましく生きる大岸の子」の育成
1 「令和の日本型学校教育」を前提に、児童や家庭・地域の実態を受け、「20年後の未来をたくましく生きる大岸の子」及び「これからの時代に求められる資質・能力」の育成に向け、「知・徳・体」の調和のとれた教育課程を編成し、教育活動を推進する。
2 常にスローガンを意識し、チームとして機動的な学校体制を確立し、サーバントリーダー論に基づく組織マネジメントにより、学校改善・授業改善を推進する。
3 教職員が幸せを感じながら働く学校づくりを目指して「働き方改革」、「業務改善」を徹底する。(教職員の幸せが児童の幸せにつながることを意識する。)

目指す教員像
1 強い使命感・倫理観、子どもへの深い教育的愛情を持ち続ける教員
2 実践的指導力や専門性の向上に主体的に取り組む教員
3 地域とも連携・協働しながら、課題解決に取り組む教員

令和3年度 重点教育目標
心地よいコミュニケーションができる子

目指す子ども像
知 … 主体的・協働的に学び 確かな学力を身に付けた子
徳 … 礼儀正しくあいさつができ 誰にでも親切に接することのできる子
体 … 望ましい生活習慣を身に付け 体を鍛える子

【育成を目指す資質・能力】
何を知っているか、何ができるかだけでなく、できることをどう使うか、どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか。

	【確かな学力】 知	【豊かな心】 徳	【健やかな体】 体
知識・技能	①読み・書き・計算、学習規律が定着している。	④基本的な生活習慣が身に付いている。(あいさつ、返事、準備・後片付け)	⑦基本的な運動技能、集団行動を身に付け、運動を楽しんでいる。
思考力・判断力・表現力	②主体的に考え、根拠をもとに筋道立てて説明できる。	⑤支持的な風土を醸成し、仲間と協働して課題を解決しようとする。	⑧工夫して、よりよい動きを作り出そうとする。
学びに向かう力・人間性	③学びを振り返り、学んだことを新たな課題や生活場面で生かす。	⑥思いやりをもって他者と関わり合い、自尊感情を高め合う。	⑨健康・安全な生活を目指し、体力向上や苦しい運動にも挑戦する。

目指す子ども像の具現化に向けた取組

〈主体的・協働的に学び、確かな学力を身に付けた子〉 【確かな学力】 → <<教務部>>	〈礼儀正しくあいさつができ、誰にでも親切に接することのできる子〉 【豊かな心】 → <<教務部・指導部>>	〈望ましい生活習慣を身に付け、体を鍛える子〉 【健やかな体】 → <<指導部>>
1 基礎基本の確実な習得と活用 ・繰り返し学習及び個別最適な学びの提供 ① ・個別の支援計画にもとづく、個に応じた指導の充実 ①② ・授業ごと、単元ごとの振り返り場面の設定 ③	5 全教育活動を通じた道徳教育の推進 ・道徳実践力を高める指導の充実 ⑤⑥ ・他者を思いやり、生命尊重の心を育てる指導の充実 ⑥	9 体育の授業改善 ・運動の楽しさ、特性にふれる授業の工夫 ⑦⑧ ・持久走や縄跳びに意図的・計画的に取り組む ⑦⑧⑨
2 家庭学習習慣の定着 ・TV、ゲーム、スマホ等の視聴時間の家庭内ルールづくりによる学習時間の確保 ①②	6 心地よいあいさつや礼儀の定着 ・胆振管内で一番のあいさつを目指す指導の徹底 ④⑤ ・心地よいあいさつができるように日常の声かけ ④⑤⑥	10 体力・運動能力を向上させる取組の推進 ・新体力テストの結果をもとに「とことんスポーツ」の内容の工夫 ⑨
3 統一感のある学習規律の徹底 ・「きずな」を活用した全校的な学習規律の統一 ① ・統一ルールによる安心感の醸成とギャップの解消 ①	7 読書活動の推進 ・毎日の読書タイムによる読書活動の習慣化 ①② ・並行読書による、読み方スキルアップ ② ・場面や気持ちを想像させ、思いやりの心を育てる ⑥	11 望ましい食育の推進 ・栄養教諭による指導機会の増加 ⑧⑨ ・給食時間、学級活動等の日常的な指導の徹底 ⑧⑨
4 校内研修(校内研究)の充実 ・研究主題を「自ら学び、確かな学力を身に付けた子どもの育成」に設定し、授業研究による検証改善サイクルの確立 ①②③	8 親切、思いやりの心の育成 ・他者と協働し、認め合い、思いやりの心を育てる交流学習、集合学習、合同学習等の機会の増加 ⑤⑥ ・縦割り班活動、地域交流活動の充実 ④⑤⑥	12 規則正しい生活習慣の確立 ・「スクラム」、生活リズムチェックシートの活用による望ましい生活リズムの定着 ⑨ ・学期ごとの健康相談の実施 ⑨

重点教育目標の具現化に向けた取組

1 胆振管内で一番のあいさつを目指す・・・具体の姿(児童自ら心を込めて、立ち止まって心地よいあいさつができる)そのために、あいさつの主体・意義・必要性・タイミング・場所・対象者・仕方についての指導を徹底する。
2 授業での協働的な学びの場面を増やすことによって、他者とのコミュニケーションの仕方を学ぶ。
3 他校児童・生徒との交流機会を増やし、多くのことにもまれる経験をし、タフでコミュニケーション力のある児童を育てる。
4 積極的な地域行事への参加や地域との多様な交流を通してコミュニケーション力を培う。
5 タブレット端末を活用したSNS疑似体験や情報交流を通して、情報リテラシーやネット上のコミュニケーションスキルを向上させる。
6 読書活動を通して様々な場面や人の気持ちを想像できる訓練を積む。

今年度の重点取組事項

1 小小・小中連携の推進	(1)学習ガイド「きずな」・生活ガイド「スクラム」の活用 (2)義務教育9年間を見据えた資質・能力の定着 (3)平和教育・キャリア教育の推進
2 教職員の資質能力の向上	(1)ICT機器(タブレット端末・デジタル教科書)を活用した授業づくりの推進 (2)プログラミング教育の推進 (3)外国語科・外国語活動の指導力向上 (4)服務規律の徹底
3 チームとして機動的な組織力の確立	(1)複雑化・多様化する困難な課題には常に組織で対応 (2)チームとして対応するための意識改革
4 新型コロナウイルス感染症対策の徹底	(1)「新しい生活様式」を踏まえた感染対策の徹底 (2)学びの保障と心のケアの充実
5 働き方改革のさらなる推進	(1)北海道アクション・プランの徹底 (2)校務支援システムの効果的な活用 (3)在校等時間の「7:00 to 18:30」を徹底

「20年後の未来をたくましく生きる大岸の子」を育てる学級経営 【学年・学級】

○支持的風土を醸成する学級経営の充実 ○統一感のある学習規律の徹底 ○心地よいあいさつの徹底 ○誰にでもコミュニケーションがとれるスキルをアップ
○スケールメリットを生かした個別の支援計画作成による個に応じた指導の徹底

「20年後の未来をたくましく生きる大岸の子」を育てる家庭・地域・関係機関との連携 【地域との連携、CS、PTA、SSW、SC】

○地域との連携・協働 ○地域とともにある学校づくり ○コミュニティ・スクール(CS)の運営 ○地域の教育リソース(資源)の有効活用 ○OPTAとの連携による望ましい生活習慣の確立 ○学校だけでは解決が難しい課題…スクールソーシャルワーカー(SSW)・スクールカウンセラー(SC)との連携による解決
--